

時事新報

我輩は浮世の人事に凝るふとを好まざる者なり之に凝るとは其事を餘り大切に思ひ過るふとにして例へば甚將棋に凝る者あり釣に凝る者あり其ふれに凝るや眠食を忘るしまでに至れども碁に負けたりとて殘念は殘念ながら相手と絶交するまでには至らず釣を妨げられたりとて其妨害者に決闘を申入れたる者あるを聞かず即ち碁将棋釣の凝りは未だ頂上に達せざるものと知る可し是れより一步を進めて金に凝る者に至れば其烈度は遙に高くして射利の爲めには眠食を忘れて常に身の不養生を犯すのみならず商賣上の一勝一敗、爵に大波動を生じて喜んで天に昇らんとするの反対に憂い地に入らんとする者あり甚だしきは家道衰微の爲めに病を發し尚ほ甚だしきは失敗を苦勞にして自殺する者さへなきに非す蓋し我輩が人事に凝る勿れとは正に此邊に適する警にして其次第と云はんに此商人が家業の爲めに勉強して眠食を忘るしまでは尚ほ可ありと雖も其金を好み金を重んずるふと餘り甚だしきに過ぎ人間世界に金ほど貴きものはあし我生命は全く金を以て立行くものありと一心不亂に凝り固まりて胸中に少しの猶豫を爲めに勉強して醒艶するも其勉強醒艶は唯その場合の事に止まり本心の位は遙に金の外に在りて損得を手輕に見るふとを得ば如何ばかりか安樂ある可きや一文を愛しみても百の損亡に心を痛ましめず百千萬の財産を所有しながら本來無一物の清操を全ふす可し今その然らざるは唯金に凝るが故のみ憐む可きにあらずや右は唯金の世界のみあらず政治社會に於ても同様の事情あるが如し本來政治も人事の一 PART にして其才力ある人には之を行ふて至極面白きものあれども政治を以て人生無上の仕事と思ひ男子に生れて官途に出身せざれば生れたる甲斐あしとまでに凝り固まるに於ては其弊害亦擧げて言ふ可らず今世に官尊民卑の陋習を養成して官途熱心の風潮を劇くし施政の困難を致して却て民間に獨立事業の發展を妨るが如きも官途の人々が又官途の人は其官に凝り固まりて畢生の心事を問へば人々は政府を去て他に功名を成すの地位なく又これを重んずるふと其實に過ぎ官職と共に其身も重きものありと心得て隨て人民を侮り民事を賤しみが故なり又官途の人は其官に凝り固まりて畢生の心事を問へばくどきは宿昔の名譽心を一時に現はし名義にも事實にも苟も他の下流に就くを快とせず如何とあれば此種の人々は政府を去て他に機會ある可らずとて一心不亂に之に粘着し公けにも私にも毫も譲る所なくして自家の體面を張らんふとを試み相互に幼るが如く又助

るが如くにして遂に何人の意見をも満足に通用せしめず其趣は封建時代に大名の奥向にて夥多の女中等が嘗て統一の地位に居る者をして心痛せしむるの事情多きが故なり主義の様なると云ふよりも唯徒に反対を試る者多しと云ふて可ならんか勿々窮屈なりと云ふ可し若しも此人々が心事を寛大にして胸中に餘地を存し政府を一種の活劇場に神祇做して自分等も諸々に得意の藝を演する者なりと覺悟するときは其劇場に誰れが由良之助を勧めて誰れが平右衛門と爲るも其尊卑は唯政府と名くる舞臺限りの尊卑のみ、舞臺を去て樂屋に入れば平生の私交常に異ならずして人々の年齢もあり社會上の履歴もあり知識の深淺もあれば風采の文野もありて由良之助必ずしも主座に居らすして平右衛門亦足輕にて施政の演劇を滑にするを得べし例へば英國に於てはオルズベリトに對して身の軽重に毫釐の差あるを見ず啻に在野の政治家のみあらず學者にても宗教家にても又商人よても其私の交際によては官途の八に比して正しく平等の地位に位するの習俗あるに獨り我日本國に於ては官民の間に尊卑の大溝渠を作りて苟も官に居て何々の身分なりと云へば恰も其身分を携へて私の交際場に現はれ冠羽祭觀花にも遊山にも官の光明を耀かして既に人氣を損したる其上に官途部内に一階一級の上下を争ひ其部内の私交にも公けの階級を通用せしめんとして果ては公務にも苦々しき事情を見るとは芝居の殿様が樂屋に入りても尚ほ殿様を氣取るが爲め其影響を公けの舞臺に及ぼし演藝の最中に由良之助が竊に判官の所作を妨げて興を醒ますに異あらず見物の迷惑のみならず役者の爲めに氣の毒なりと云ふの外あし畢竟士族の末孫たる今日の政治家が胸中に餘地なく政治の藝名に凝り固まるの罪にして此凝りの解けざる間は我政治社會の圓滑は望む可らず殊に立憲國會の世の中にもなれば我輩は切に其解凝を祈る者あり

予輩は又教育社會の有様を見るに教育改良の議論は年々月々益々燃にして雜誌に或は集會に筆戰舌鬪の状況は花々しさものと云ふべし予輩は斯く數育者諸氏が熱心に又忠實に教育の改良を事とするは深く感謝する處あり左れども進んで教育者諸氏が其誠心に論辨する改良策の要旨は如何其忠實に論述する改良策の實効は如何予輩は未だ教育者諸氏が一定の主義として改良の方案を定めしものあると聞かざるなり予輩は未だ教育者諸氏が輿論に因て實効を奏せし事業あるを見ざるなり蓋し教育者社會の有様たる各地各自孤立の勢にして互に相凌轢せんとし更に教育者社會に入りて細かに其有様を察すれば或は種々の事情の牽制するありて或は時機の乘すべきあくして漠然今日に經過せしならん予輩は既往に輿論の生出せざりしを咎めざるべしと雖も特に遺憾とするは教育者各自の議論か大約ね皆學理にのみ馳せて其實際を顧みざるふと是なり茲に適當の一例を示せば曩きに大日本教育會が其總集會に於て提出せし討論題は教育の主義は國民的教育と云へば連一概に個人的教育となすべきか云々なり抑も國民的教育とは如何個人的教育とは如何理屈を叩て之を討論せば隨分面白きとにもあらんかなれ共國民的教育と云へば連一概に個人的立國の體裁等を知らしむれば他に用なひとは申されまじ或は個人的教育を可とすれば之も一概に國民的心得は無用なりとは申されまじ要するに學者の好事となすべきか云々なり抑も國民的教育とは如何個人的立國の體裁等を知らしむれば他に用なひとは申されまじは國民的教育を可とすれば之も一概に國民的教育法は困難なり或は曰く教員の待遇が冷淡あり或は曰く町村理掌者等が盡さるなりと皆其枝葉を攻めて暫て根源に溯り其組織の如何に就て論議せしものあるを見ず左れば今之の教育法は其成立に於て果して完然のものとあすべきか學校の組織は如何教育の程度は如何教科の目は如何若し夫れ學校の組織にして不充分なりとせばよ甲は曰く唱歌の教授か不完全なり乙は曰く人物查定法は困難なり或は曰く教員の待遇が冷淡あり或は曰く町村理掌者等が盡さるなりと皆其枝葉を攻めて暫て根柢からざるを信ずるあり否寧ろ之を改正せんなどを欲するあり今夫れ我國兒童發育の有様を見るに六歳の兒童は未だ所謂頑なき幼兒にして之に讀書算術習字等を教授するも其初一年間に得る處の利益は七箇月に至つて三四箇月間教授を受けしものと其結果は殆んど差異なきものゝ如し個は決して一個の想像説にあらず實際の經驗に従して正に其然るを知るべきなり左れば此頃は亦六歳の兒童を學校に入らしむるは或は早さに失するの虞なからんか好し假設早さに失せざるとするも其利益の少さは争ふべからざる事實ならん況して今之の小學校の不完全なる身體機能總て軟弱なる此幼兒を驅つて強て教育せんとし却て天然發育の働きを害し往々にして彼の人の子を贋ふに類するものあるに於てをや予輩は斷じて學齡を満七年より改めんなどを希望するものなり然して予輩は尙進んで學齡の年數を短縮し其終りを十二歳となし通じて五箇年となすは我國普通教育の程度に最も適當したものと思慮するなり請ふ看よ我國の狀態を我國今日の狀態は人民の生活甚だ貧瘠なるにあらず並産興業の道本が基を開けざる

にあらずや内國の政務に對しては對等の條約數未だ寡少なるにあらずに非ずや之を要するに立つるにあるあるべきの狀態に因て組織するに失するものと謂は三に位する中等以上科程は之を尋常高等の四箇年となすに因り其常科に止り能く高等科が認めて義務教育とすべきに失するものと謂は二に位する中等以上科程は之を尋常高等の四箇年となすに因り其度を高めつゝ一方處の普通教育は五箇年とか斯くの如くする時は實り十一歳に至るの五年と年齢稍や長じたるさば前五年の教育と後八年の論にあらざるべきに得る處の利益は實り六歳より九歳に至るべき度を高めつゝ一方に得るものゝ如し故に茲に無指向に得る處に依れば今も各府縣施設の實況に二段に分ち普通人民の苦む處あれども高等小學に反して高等小學は恰等尋常の區別は入學する三百萬圓を減少すべからん予輩は疾くに此制に聞く處に依れば今も各府縣施設の實況に二段に分ち普通人民の苦む處あれども高等小學は其當を得たるものあらずや況んや現在の普通人民の爲め短き年に就くものにあらずや高等尋常の区別は入學する四年の科程を終れば其蓋し此二段の境界は何より左れども普通人科程の許す限りは可成普されば富貴家の爲め中等教育を受ければ多くは家事の助けを主張せり左れば高等尋常の区別は入學する四年の科程を終れば其蓋し此二段の境界は何より左れども普通人科程の許す限りは可成普されば富貴家の爲め中等教育を受ければ多くは家事の助けを